

## 2018年度 第5回 日本建築学会関東支部埼玉支所役員会 議事録

日時：2019年2月21日（木）18:00～20:30 埼玉建設会館 2階会議室

出席：■時田芳文 ■市川毅 □樋口和男 ■市川均 ■宇杉和夫 ■大竹由夏 □梶芳晴 ■木下芳郎 □朽木宏  
□桑田仁 ■佐藤泰 ■白江龍三 ■徐華 □鈴木弘樹 ■高岡敏夫 ■戸田都生男 ■永峰麻衣子 ■原口剛  
□日色真帆 □平野隆 □古里実 ■三浦清史 □水村容子 ■八代克彦 □若林祥文 ■宗政由桐（敬称略）  
■黒田智之（事務局） □隅倉陽子（経理）

配布資料：2018年度第5回役員会 議事次第

2019年度 第4回 埼玉住まい・まちづくり交流展@行田 会議 議事録（資料1）

埼玉住まい・まちづくり交流展2019@行田 A4ポスター（資料2）

2019年度 関東支部総会の開催準備について（資料3）

### 1. 2019年度「埼玉住まい・まちづくり交流展」について（資料1）

・八代先生より、第4回議事録に沿って説明があり、その後質疑応答が行われた。

【全体のテーマについて】

説明内容が結論だけで、どうしてこのテーマなのか等不明な点が多い（宇杉）

↳街をテキストにして、行田市に限らず埼玉県内の大学が行なっている活動を展示できれば良い

↳地域との関係をしっかりと考えた方が良い（宇杉・樋口）

「書を持って町を歩こう」を聞いて集まった人々が、内容を見て戸惑わないようにしなければならない（市川均）  
歩きながらでは書は読めないの、地図としてはどうか？（徐）

大学と地域の連携と歩くということがつながらないし、何を発見させたいのか具体的にすべきでは？（市川均）

【シンポジウム（パネルディスカッション）について】

1日目、2日目のシンポジウムのテーマは何か？（白江）

↳「地域と歩む学び、ひと・もの・まちづくり」を考えている

前回の寄居でのシンポジウムにも参加したが、誰に向けて行っているシンポジウムなのか不明だった。地域住民の知的好奇心が湧くような内容にするべき（原口）

シンポジウムに人を集めることは大変だし、集まらなければ意味がない（市川均）

パネルディスカッションについても、聴衆の立場に近い人を登壇させた方がよい（市川均）

シンポジウムに、行田のまちをどうするかなどの落とし所を話してもらおうと良いのでは？（三浦）

例えば、行田市は三重苦（人口減少、高齢化、財政難）などがある

↳戸田先生から問題提起をしてもらう

↳地域資源を生かすなど、ポジティブな提案にする必要がある

【パネル展示について】

展示場所については以下の通りとする

20日午前～20日夕方：シンポジウム会場（ものづくり大学）

20日夕方～21日午前：パン工房（KURA）

21日午後：シンポジウム会場（商工センター）

パネルの展示内容は、行田市に限らず埼玉県内の活動であれば良い

↳パネル展示に何を求めているのか、テーマがよく分からない（時田）

↳大学関係者や役員に依頼は行っているのか？今月中に依頼をかけないと間に合わない（時田）

↳サイズはA1縦使いとして、枚数やレイアウト案を提示してほしい（宗政）

【ポスターについて】（資料2）

今回はフライヤー及びポスターはプロに依頼しない

このポスターが何を表現しようとしているのか分からない（宇杉）

↳文言や地図に関しては洗練したものに差し替える予定

・交流展の2日目は統一地方選挙後半の選挙投票日と重なっている

・支所として全面的に協力を行うが、シンポジウムのテーマや講演内容、パネル展示の依頼など、早急にスケジュールを

決めて進めてほしい（時田）

## 2. 2019年度 日本建築学会関東支部総会について（資料3）

- ・来年度の関東支部総会について、改めて時田支所長より説明が行われた。
  - └総会会場：熊谷駅ビル AZ 6階 アズホールとし、登録人数によって運営方式を考える。
  - └見学会：国宝歓喜院，県立熊谷スポーツ文化運動公園 ラグビー W 杯会場
  - └懇親会：屋上ビアホールにて行う（懇親会費 3,000 円）。
  - └『建築雑誌』3月号に詳細が掲載される。

## 3. その他

- ・昨年度の「埼玉住まい・まちづくり交流展」における寄居町からの協賛金の還元方法については時田支所長に一任する。
- ・支所内に建築視察やイベントを行う委員会を設置してはどうかという提案があり，次回の役員会にて意見を募る。
- ・「日本建築美術工芸協会」創立 30 周年記念 特別記念講演が 3/19 に開催される（栃木支所元支所長が登壇予定）。

以上

記録：宗政由桐